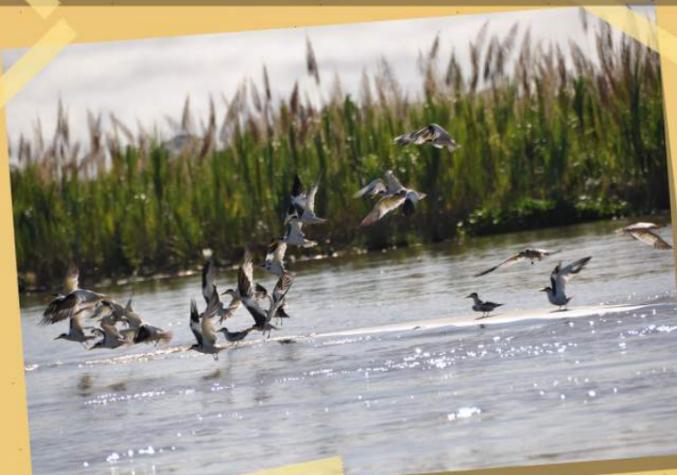


# アマゾンの生き物



アマゾン川流域には、約 380 種のは虫類、430 種類の両生類、420 種のは哺乳類、1,800 種の鳥類が生息しているといわれていますが、今でも多くの新種が発見されその数は増え続けています。地上や水中に巨大な生き物がうごめいているイメージのあるアマゾンですが、実際には野生でその姿を見ることはまれで、遠目でアマゾンカワイルカを見ることができたくらいでした。ここでは現地の動物園で撮影した写真を中心にアマゾンの生き物について紹介します。



飛び立つアジサシのなかま。雨季で増水していることもあり、残念ながら野生動物の姿を見ることはあまりできませんでした。



カメの仲間  
マタマタは岩や枯葉にそっくりの姿をしており、魚を待ち伏せて丸呑みにします。モンキヨコクビガメはペットとして世界中に人気があり、養殖場では子亀がたくさん飼育されていました。



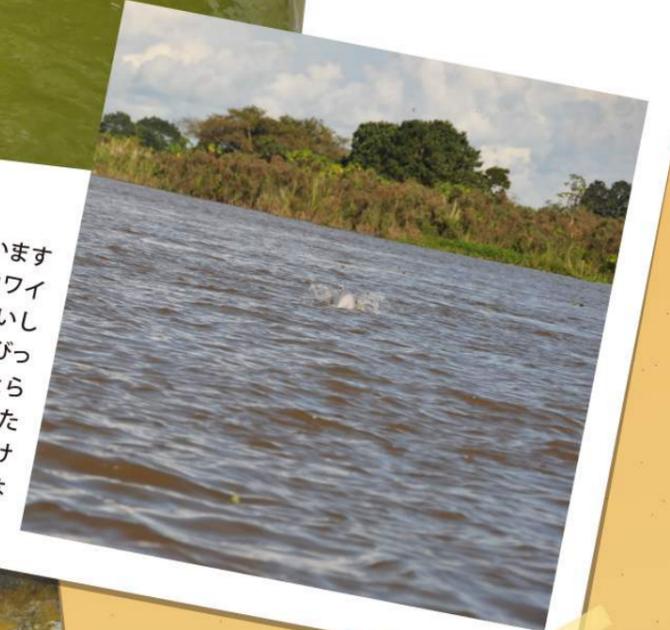
オオカワウソ  
南米に広く分布するカワウソの仲間です。大変大きくなり体重は 30 キロほどにもなります。性格も凶暴で、川のオオカミと呼ばれます。



オオオニバス  
世界最大の水草で、葉の直径は3メートルにもなります。子供が乗った写真が有名ですが、葉自体はそれほど堅くないので、実際には無理だと思います。ちょうど白い花が咲いていました。



アマゾンカワイルカ  
イルカの仲間は普通海に生息していますが、アマゾン川などの大河には「カワイルカ」がすんでいます。全身灰色ないしピンク色で、細くて長くちばしにはびっしりと歯が並んでいて、水中で魚をとらえるのに適しています。茶色くにどつた川の中でも、超音波を発して魚を見つけることができるかわりに、あまり使わない目は退化しています。



メガネカイマン  
アマゾンではもっとも普通に見られるワニの仲間です。市場で買って食べたのもこのワニでした。